

令和2年度 事業実施報告

事業名	第5回近畿河川フォーラム 兼 第23回淀川討論会
日時	令和3年2月27日(土) 14時から17時
場所	摂南大学寝屋川キャンパス 1232号教室 (オンライン併用)
参加者数	54名 (内、オンライン19名)
概要	<p>14:00～ 開会挨拶 淀川愛好会会長 伊藤 譲氏</p> <p>14:05～ 河川協力団体全国協議会および近畿の動き 河川協力団体全国協議会代表幹事 山道省三氏 近畿地方整備局河川部河川環境課 松岡一成氏</p> <p>14:30～ 基調講演 「水害ソフト対策～避難行動」 講師 京都大学防災研究所教授 矢守克也氏</p> <p>15:30～ 休憩</p> <p>15:30～ 参加団体からの活動紹介</p> <p>16:30～ 意見交換</p> <p>17:00 終了</p>
実施結果	<p>河川協力団体全国協議会の山道省三氏からは、防災・地域振興につて、河川管理者とNPOとの連携の重要性が指摘された。近畿地方整備局の松岡一成氏からは、河川協力団体・河川空間のオープン化・かわまちづくり支援制度について説明がなされた。京都大学防災研究所教授の矢守克也氏からは水害のソフト対策について、避難スイッチといった住民による独自の避難判断基準やセカンドベスト、「空振り」改め「素振り」という考え方をご紹介いただいた。参加団体の活動紹介では、10団体から発表があった。</p>
資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">講演(オンライン)とフォーラム後の集合写真</p>
ふりかえり	<p>これまではハード対策について検討する機会が多かったが、今回のフォーラムではソフト対策について多くを学ぶことができた。新型コロナウイルス対策として、会場(35名)とオンライン(19名)の両方での開催となり、試行錯誤しながらの開催となったが、無事に開催することができよかった。</p>